

校長 杉本 和博

皆さん知っての通り今年の夏は暑さが厳しく、最高気温が35℃を超える猛暑日が、1939年の統計開始以来の最多を記録しています。つまり、ここにいる全員にとって「生まれて初めて経験する程、暑い日が多かった夏」ということになります。また、この27日間の夏休み中には台風7号が本州を縦断するという出来事もあり、県内にも大きな被害が出るのではないかと心配しました。

そんな厳しい夏休みではありましたが、自分の目標に向かって充実した毎日とし、1学期の終業式から今日までの間に、自分を成長させることができたでしょうか。

さて、今日からスタートする81日間の2学期に目を向けていきたいと思います。

この暑さであまり実感はわからないとは思いますが、2学期の主な季節は秋です。「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」そして「食欲の秋」と言われるくらい、充実した活動が行える過ごしやすい季節です。学校でも、体育大会や生徒会選挙、「14歳の挑戦」に合唱コンクール等、多くの行事を計画している時期でもあります。是非、1つ1つの行事に対し、しっかりと向き合ってほしいと思います。きっと自分自身を成長させることができますよ。中でも特に頑張ってもらいたいのは、合唱コンクールです。この行事は、1年間で最もクラスのチームワークが問われる取組です。「歌が一番美しかった」ということもとても大事ですが、この取組を通し、クラスのまとまりをより強くしていくことが最も大切なことだと思います。そこには、「努力」「リーダー性」「思いやり」「協力」「発想力」「責任感」等々、これから社会に出て行く皆さんに身に付けてもらいたい多くの要素が含まれています。「合唱」という素材を使って取組を進めますが、歌の善し悪し以上に高い価値があることを意識してもらえると、この行事もより輝いてくるのではないかと考えます。

さて次に、この2学期に頑張ってもらいたいことを学年毎に伝えます。

まずは1年生です。新しい学校、新しい仲間、新しい先生と、大きく変わった環境の中で中学校生活はスタートしましたが、もう「慣れる」時期は終わりです。この中から、班・クラス・学年をリードしていく「これからのリーダー」が出てきてほしいと思います。小学校では、先生の指示に従い正論を伝えることが多かったのではないかと思います。これからは正論も理解した上で少数意見にも耳を傾けることができる「柔軟性をもつリーダー」が求められます。対立した意見の間

に立ち互いの意見に耳を傾け、そこから互いに納得できる「合意点」を創り上げてく、その過程をリードしていける「真のリーダー」が、班・クラス・学年にたくさん出てきてほしいと思います。

次は2年生です。いよいよ学校を動かす時が来ました。これまでのクラス・学年に加え、部活動・委員会活動そして生徒会活動でも中心は2年生です。この意味から言えば、これからの1年間はこの2年生の色に染めることができる期間になります。どんな1年間にしますか？ 「去年から継続して…」などと寂しいことは言わないでください。他のメンバーのことをちっとも考えない「独裁者」ではいけません、せっかく自分たちが組織をリードしていける立場になったからには、「爪痕を残してやる！」という前向きな意気込みがほしいと思います。違った立場への配慮を織り込んだ上で、どんどん新しい風を吹き込んでほしいと思います。この2年生でしか創れない1年間、楽しみにしています。

最後に3年生です。皆さんは中学校生活を総括する時期を迎えました。これまでの2年半で培ってきた学力・人間力を使って、いよいよこれからの半年間は進路選択に全力投球する段階です。「受験は団体戦」と担任の先生から聞いている人もいるかと思いますが、私も「まったくその通り」だと思います。クラスで創り上げる雰囲気、一人一人を励まし・勇気付け・助けてくれます。ラグビーでよく使われる「One for all, all for one.」の言葉その通りだと思います。自分一人では出せない力も、仲間と一緒にだと出すことができます。クラス・学年で力を合わせ、この2学期が「実り多い時期」となるよう頑張ってください。

さて最後になりますが、大きな事件や事故もなく無事にこの始業式を迎えられたことに感謝すると共に、新たなメンバーを加えたこれからの雄山中学校が更に素晴らしい学校となっていけることを願っています。互いに頑張りましょう！